

■説明書最終更新日：2018/08/07

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に
本書と共に説明書の両方をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。



※製品の詳細なスペックに関しては、販売店舗掲載のデータテーブルをご確認ください。

本製品固有の注意事項

- * 本体に microSD カードが挿入されていない場合は、正常なランプ点灯の確認ができません。
- * microSD カードの不具合、または対応していないメーカーのものをお使いの場合も同様に正常なランプ点灯の確認ができない場合があります。その際は防犯カムカムが推奨しているメーカーまたは防犯カムカム純正の microSD カードに交換してお試しください。
- * パソコンに接続してもデータを読み込まなかったり本体を認識しない場合は、本体の電源を ON にすることで認識することがあります。
- * 本製品はメーカー側の都合により、一部デザインや製品仕様および機能、付属品の内容やランプの点灯色が異なったり、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

MEMO

本製品の使い方

緑字…操作に対する本体の自動反応

※…補足説明や注意事項、その他備考など

■ 充電方法

- ・付属の黒い USB ケーブルを、本体の充電用 USB ポート (I) に接続してパソコンと繋ぐ。
※充電は本体の電源を OFF にして行ってください。
※充電は microSD カードを抜いて行ってください。
カードを挿したままの状態では充電されません。
※フル充電には 5 時間ほどかかります。
※充電が完了したら、過充電を避けるため、本体を取り外してください。

■ 電源を入れる前に

- ・十分に容量が空いた microSD カード(別売)を本体の microSD カードスロット (F) に挿入。
※カードの抜き差しは工具で行ってください。
※本体電源が入った状態で microSD カードを抜き差ししないでください。カードが壊れたり、中のデータが壊れる場合があります。(カード自体やデータの復旧・保証は致しかねます。)

■ 本体電源の ON と OFF

1. 本体電源ボタン (C) を 1 回押し。
2. 動作ランプ (B) の【100% 表示】部分が点灯。
3. 撮影待機状態に移行。(本体電源 ON)
1. 本体電源ボタン (C) を約 3 秒間長押し。
2. 動作ランプ (B) が消灯。(本体電源 OFF)

※動作ランプはモバイルバッテリーとしてのインジケータランプも兼ねているため、複数の箇所が操作に応じて光ります。

■ 動画撮影

1. 撮影待機中に、本体電源ボタン (C) を 1 回押し。
2. 動作ランプ (B) がゆっくり 3 回点滅後、消灯。
(動画撮影開始)
3. 撮影中に、再度本体電源ボタン (C) を 1 回押し。
4. 撮影待機状態に移行。(動画撮影停止)

■ 赤外線 LED 照射

- ・撮影待機中に、バッテリー／赤外線 LED ボタン (A) を約 2 秒間長押しで照射。
※不可視 LED なので人間の目では光って見えません。

■ 静止画撮影

1. 撮影待機中に、本体電源ボタン (C) を 2 回押し。
2. 動作ランプ (B) の【100% 表示】が点灯したまま、【75% 表示】が 1 回点滅して消灯。
3. 静止画を 1 枚撮影しメモリに保存。
(動画撮影停止)

■ 音声録音(ボイスレコーダー)

1. 撮影待機中に、本体電源ボタン (C) を 3 回押し。
2. 動作ランプ (B) の【100% 表示】が点灯したまま、【75% 表示】が点滅。
(音声録音開始)
※動作ランプは録音中ずっと点滅し続けます。
3. 録音中に、本体電源ボタン (C) を 1 回押し。
4. 撮影待機状態に移行。(音声録音停止)

■ 動体検知機能

1. 撮影待機中に、本体電源ボタン (C) を 4 回押し。
2. 動作ランプ (B) の【100% 表示】と【75% 表示】が同時に点滅し、消灯。(動体検知機能:起動)。
※動体検知機能の起動中は、動きを検知して自動で記録と停止を繰り返します。
(【75% 表示】がゆっくりと点滅して消灯)
3. 動体検知機能の起動中に、本体電源ボタン (C) を 1 回押し。(動体検知機能:終了)。

■ 撮影ファイルの確認方法

1. 撮影ファイルが保存された microSD カードを本体に挿入。
2. 付属の USB ケーブルを使用して、カメラ本体とパソコンを接続。
3. パソコンがリムーバブルディスクを自動で認識。
4. リムーバブルディスク内に保存されたファイルをパソコンに保存。
5. パソコンに保存したファイルを確認。
※録画したデータはできるだけパソコンへ移動し、パソコンに移動したデータを閲覧ください。(USB ケーブルのデータ転送速度の影響で動画再生時のブロックノイズや再生不可を改善できます。)